

世界自然遺産の白神山地を訪ねる 白神岳

実施日 2016年9月17日(土)~19日(日)
天候 9/17 雨 9/18-19 晴れ
リーダー 天野 拓郎
参加者 涌井良明、白石恵美子、石附智江、天野拓郎、宇野輝代、石附恵理子、渡邊悦子、濱田優美、子、宮崎敏男 計9名

費用
タイム 9/18 白神岳登山口(8:00)二股分岐(9:00)マテ山分岐(10:15)十二湖分岐(12:30)白神岳山頂(13:00)山頂避難小屋 泊
9/19 白神岳山頂(5:00)十二湖分岐(5:15)大峰岳(8:00)崩山(10:30)奥十二湖駐車場(13:00)

9/17 午前9時半に新青森駅着、レンタカーを借りて黄金岬温泉へ。途中大雨に降られるが無事に温泉に到着。温泉は鉄が溶け出した硫黄泉で赤茶色の色が特徴的。海辺の露天風呂はなんと混浴！宿の美味しいご飯を頂いて早めに就寝する。

9/18 朝6時起床。お風呂に入って、宿の美味しいご飯を食べて、いざ白神岳登山口へ。登山口の駐車場はすでに満ぱん！なんとか駐車スペースを見つけて駐車し、いざ山頂へ向けて出発！天気は曇りだが、予報では徐々に良くなるとのこと。



整備された登山道を歩き、標高を上げていくとほどなくブナ林に入り、世界自然遺産に来たことを実感する。



山頂手前の上りは厳しかったが、ゆっくり歩いて何とか13時には登頂するも、山頂の避難

小屋には会津からきた10人組1パーティが！場所を譲り合いながら、寝床を確保し、遅い昼ごはんを食べる。

夕方近くにさらに3人組2パーティが来て、避難小屋は満員御礼状態・・・。小屋に入りきれなかった1パーティ3人は、外でテントを張ることになるが、小屋で寝た人々は後ほどテント泊の人た・・・むことになる。満員の避難小屋は猛獣小屋と化し、イビキの大合唱でとても寝れたものではなかったが、そのような状態でも熟睡したメンバーもあり、他のメンバーはその人に尊敬の念を覚えずにはいられなかった…



9/19 長い夜が過ぎ、誰からともなく朝4時に起床、簡単な朝食を済ませ5時には山頂の避難小屋を後にする。会津から来たパーティが先に十二湖に向けて出



発し、我々もそれに続く。十二湖までは緩やかな下りだが、ほとんど整備されていない登山道は荒れ放題・・・。

藪漕ぎをしながらの山歩きは辛かったが、それでも左に日本海、右に世界自然遺産核心地域のブナ林を見ながら歩く山歩きはここでしかできない貴重な体験だった。

山頂出発から7時間後の13時に無事に奥十二湖の青池に到着。青池の神秘的な色を背景に記念撮影をし、無事に下山できた喜びをかみしめる。



タクシーで白神岳登山口に戻り、車を回収し、温泉に立ち寄って17時前に新青森駅に到着。

駅内の居酒屋で乾杯をして全ての行程を終了！思い出に残る山歩きだった。



(記・天野 拓郎)
(写真提供・涌井 良明／宮崎 敏男)

